

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年1月10日朝刊西部版

細長いつららが連なってきた「氷の壁」
11月9日午後、浜松市天竜区水窪町



「氷の壁」水窪に冬の神秘
例年より早く

浜松・天竜区 山中につらら連なる

浜松市天竜区水窪町の山中に、多数のつららが連なる「氷の壁」が出現し、冬ならではの神秘的な光景を作り出している。氷の壁は同町西浦地区の足神社に向かう林道沿い（標高約800メートル）の岩壁にある。岩肌から流れ落ちる水が凍り付き、細長いつららが随所に連なっている。つららは長いもので約2メートル。先端からは水がしたり、透明感ある自然美が広がっている。地元住民によると、氷の壁は例年1月下旬から2月上旬ごろにかけて出現するが、今年は年明け以降の厳しい冷え込みの影響で比較的早い時期にできたとみられる。
(水窪支局・磐村光紀)

- ①記事にある「氷の壁」とは、どのような光景のことですか。
()
- ②「氷の壁」が出現した時期は例年と比べてどうですか。
()
- ③岩肌から流れ落ちる水が凍り付いた細長い「つらら」は長いものでどれくらいの長さがありますか。
()
- ④記事にある写真には、どのような効果がありますか。20字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年1月10日朝刊西部版

細長いつららが連なってできた「氷の壁」
 11月9日午後、浜松市天竜区水窪町



「氷の壁」水窪に冬の神秘
 例年より早く

浜松・天竜区 山中につらら連なる

浜松市天竜区水窪町の山中に、多数のつららが連なる「氷の壁」が出現し、冬ならではの神秘的な光景を作り出している。氷の壁は同町西浦地区の足神神社に向かう林道沿い（標高約800メートル）の岩壁にある。岩肌から流れ落ちる水が凍り付き、細長いつららが随所に連なっている。つららは長いもので約2メートル。先端からは水がしたり、透明感ある自然美が広がっている。地元住民によると、氷の壁は例年1月下旬から2月上旬ごろにかけて出現するが、今年は年明け以降の激しい冷え込みの影響で比較的早い時期にできたとみられる。
 （水窪支局・磐村光紀）

- ①記事にある「氷の壁」とは、どのような光景のことですか。
 （ **多数のつららが連なる光景** ）
- ②「氷の壁」が出現した時期は例年と比べてどうですか。
 （ **例年は1月下旬から2月上旬頃にかけて出現するが、今年は（年明け以降の激しい冷え込みの影響で）比較的早い時期にできた。** ）
- ③岩肌から流れ落ちる水が凍り付いた細長い「つらら」は長いものでどれくらいの長さがありますか。
 （ **約2メートル** ）
- ④記事にある写真には、どのような効果がありますか。20字以内で書きましょう（句読点を含みます）。
 （例）つららがどのようなものかわかる。（16字）
 氷の壁がどのようなものかわかる。（16字）
 神秘的で透明感のある自然美がわかる。（18字）
 いかにも冷たそうなようすが伝わる。（17字） など

年 組 名前